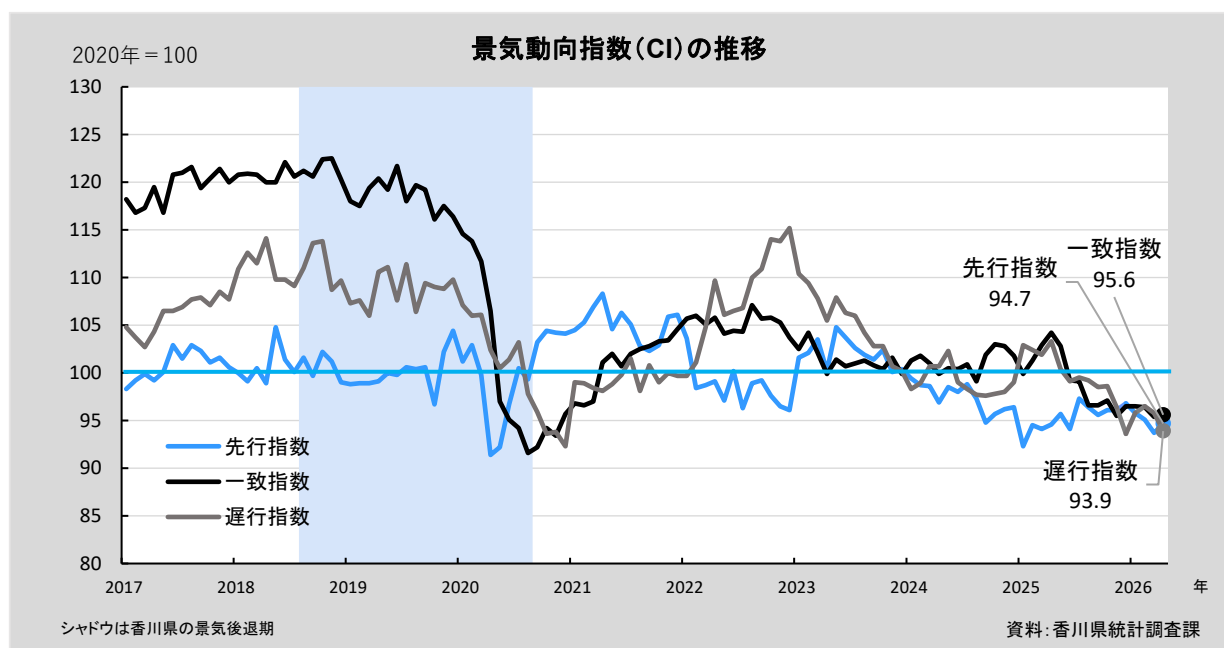


|      |                  |
|------|------------------|
| 概況   | 持ち直している。         |
| 個人消費 | 緩やかな増加基調にある。     |
| 住宅投資 | 低調に推移している。       |
| 公共投資 | 持ち直しの動きがみられる。    |
| 生産活動 | 横ばい圏内の動きとなっている。  |
| 雇用情勢 | 持ち直しの動きに弱さがみられる。 |
| 貿易   | 輸出、輸入ともに増加している。  |
| 観光   | 持ち直しの動きが続いている。   |

## 景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 4カ月ぶり上昇



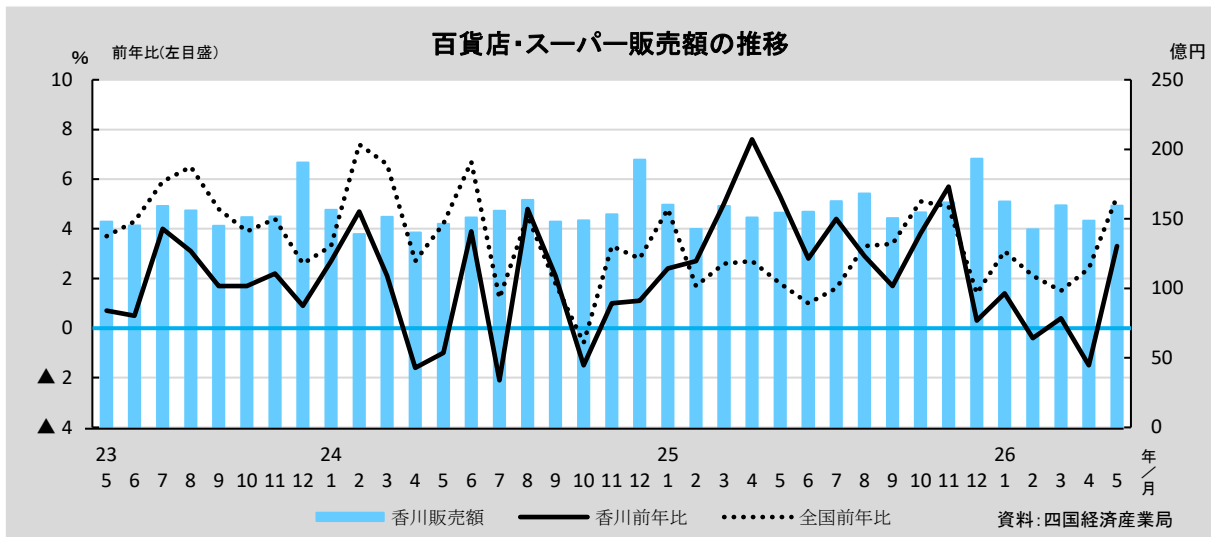
景気の現状をみると、4月のCI一致指数は95.6（前月比+0.2ポイント）と4カ月ぶりに上昇。CI先行指数は94.7（同+1.0ポイント）と4カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は93.9（同▲1.9ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、所定外労働時間指数等がプラスに寄与し、4カ月ぶりに上昇となった。

| 採用<br>景気<br>指標 | 先行系列        |        | 一致系列             |        | 遅行系列        |        |
|----------------|-------------|--------|------------------|--------|-------------|--------|
|                |             | 寄与度    |                  | 寄与度    |             | 寄与度    |
|                | 1 新規求人数     | 1.12   | 1 雇用保険受給者実人員     | 0.12   | 1 常用雇用指数    | ▲ 1.06 |
|                | 2 乗用車新車登録台数 |        | 2 有効求人倍率         | ▲ 0.19 | 2 有効求職者数    | ▲ 0.55 |
|                | 3 鉱工業在庫率指数  | 0.01   | 3 所定外労働時間指数      | 0.46   | 3 消費者物価指数   | ▲ 1.55 |
|                | 4 新設住宅着工戸数  | 1.48   | 4 鉱工業生産指数        | ▲ 0.19 | 4 家計消費支出    | ▲ 0.50 |
|                | 5 金融機関貸出残高  | 0.15   | 5 鉱工業出荷指数        | ▲ 0.80 | 5 鉱工業在庫指数   | 0.48   |
|                | 6 消費者態度指数   | ▲ 1.65 | 6 建築着工床面積        | 0.73   | 6 法人事業税調定額  | 1.06   |
|                |             |        | 7 百貨店・スーパー既存店販売額 | 0.10   | 7 第3次産業活動指数 | 0.33   |

## ●百貨店・スーパー販売額

2 カ月ぶり増加

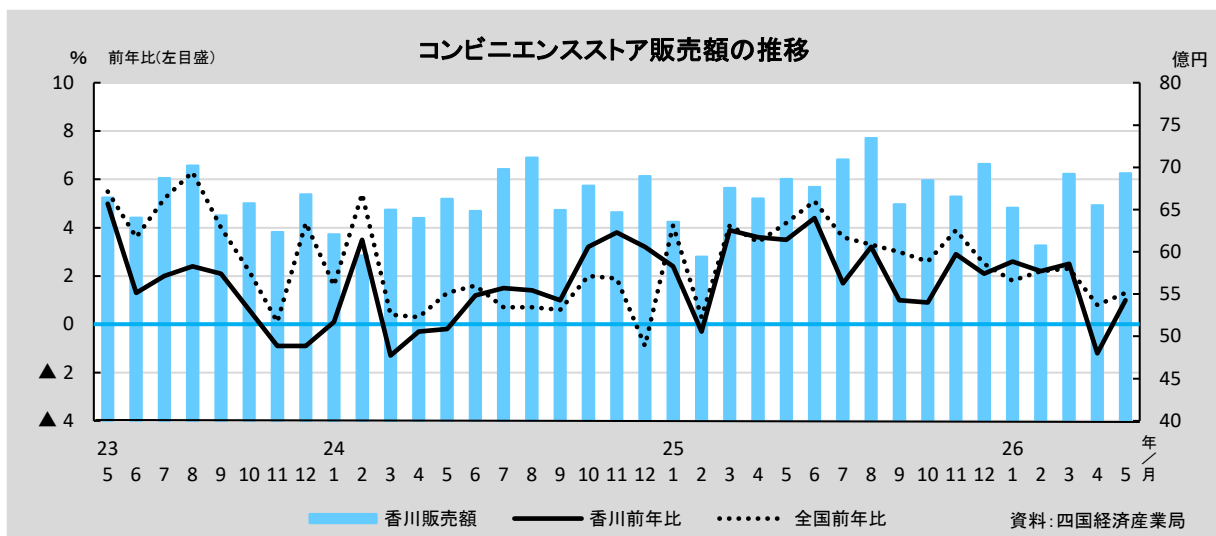


| 2026/5月  | 衣料品   | 身の回り品 | 飲食料品   | 家具  | 家庭用<br>電気機械器具 | 家庭用品 | その他の商品 | 食堂・喫茶 | 合計     |
|----------|-------|-------|--------|-----|---------------|------|--------|-------|--------|
| 販売額(百万円) | 1,095 | 627   | 11,837 | 23  | 64            | 702  | 1,590  | 5     | 15,943 |
| 前年同月比(%) | 6.5   | 5.2   | 2.2    | 3.1 | 61.9          | 3.6  | 7.1    | 12.5  | 3.3    |

5月の百貨店・スーパー全店(91店)の販売額は159.4億円で、前年同月比+3.3%と2カ月ぶりに増加した。「飲食料品」は冷凍食品や総菜、夏物商材が好調だったことにより同+2.2%、「その他の商品」は玩具や化粧品などの動きが良かったことなどから同+7.1%と前年を上回った。また、「衣料品」は気温の上昇で夏物衣料や肌着が好調だったことなどから+6.5%と増加した。

## ●コンビニエンスストア販売額

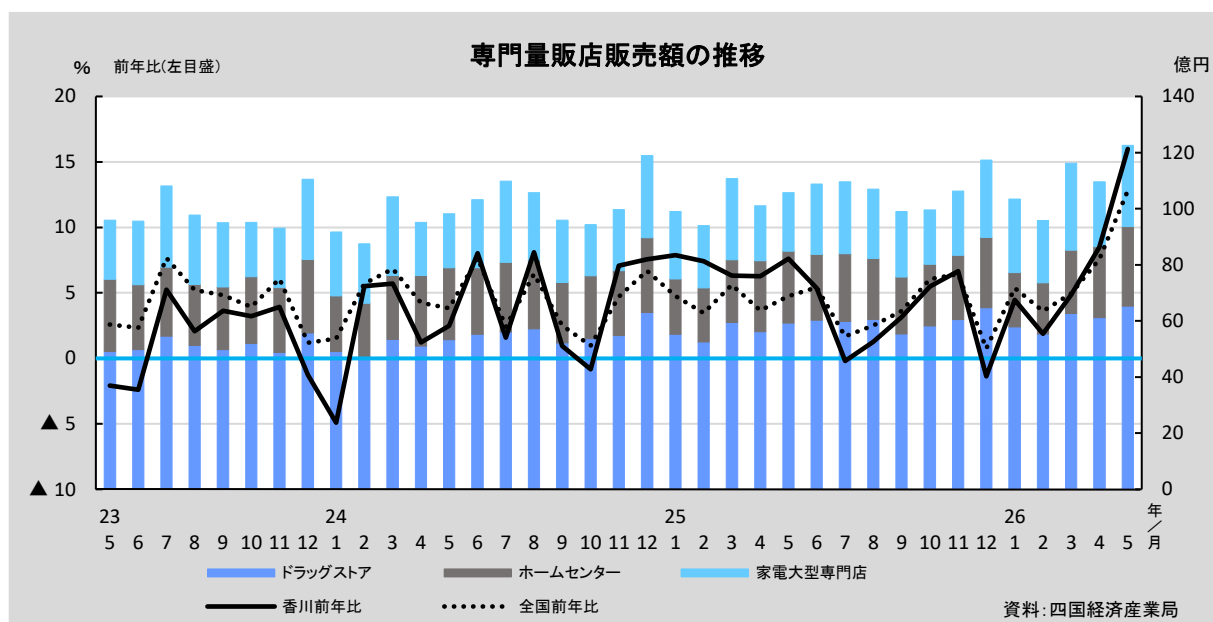
2 カ月ぶり増加



5月のコンビニエンスストア全店(408店)の販売額は69.3億円で、前年同月比+1.0%となり、2カ月ぶりに増加した。

## ●専門量販店販売額

5 カ月連続増加

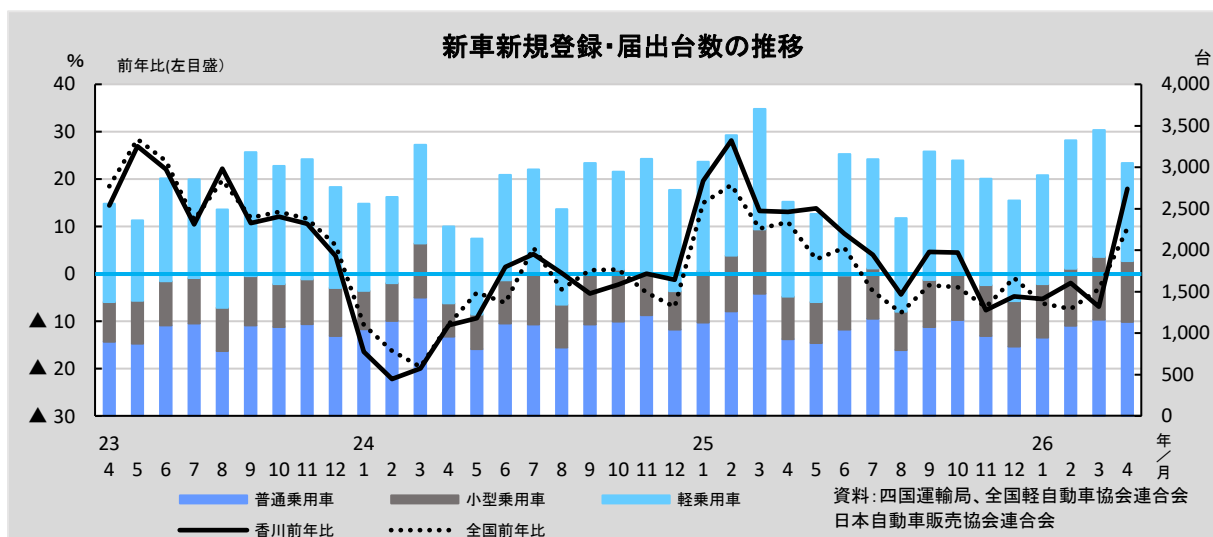


5月の専門量販店全店（243店）の販売額122.6億円で、前年同月比+16.0%と5カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は29.0億円で前年同月比+39.2%となった。**ドラッグストア**（170店）の販売額は、65.2億円で同+10.0%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、28.4億円で同+10.8%となった。

## ●新車新規登録・届出台数

6 カ月ぶり増加



4月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,050台で、前年同月比+17.9%と6カ月ぶりに増加した。

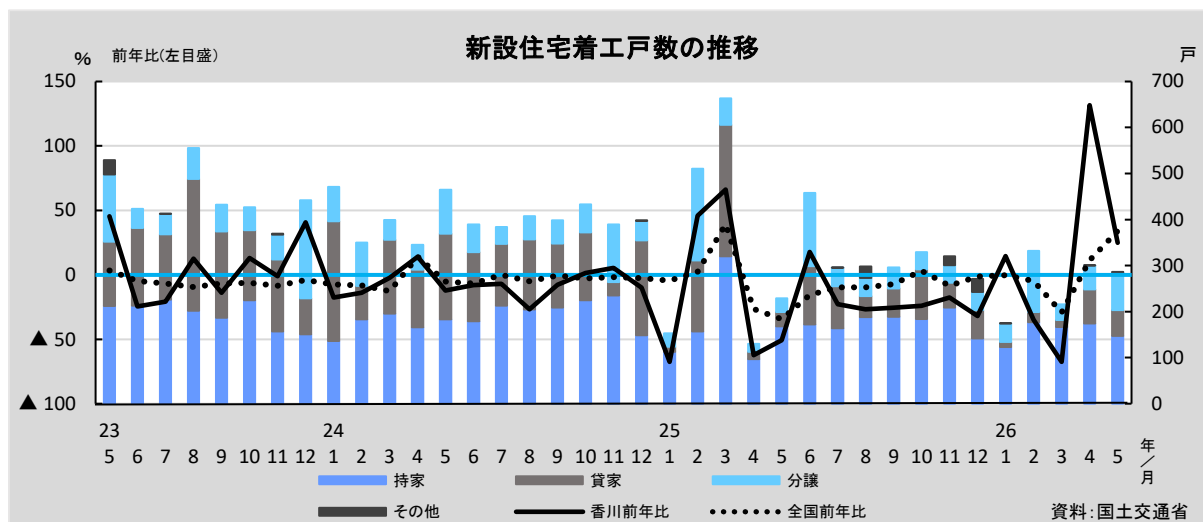
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+22.3%、小型乗用車は同+43.5%、軽乗用車は同+3.0%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

2 カ月連続増加



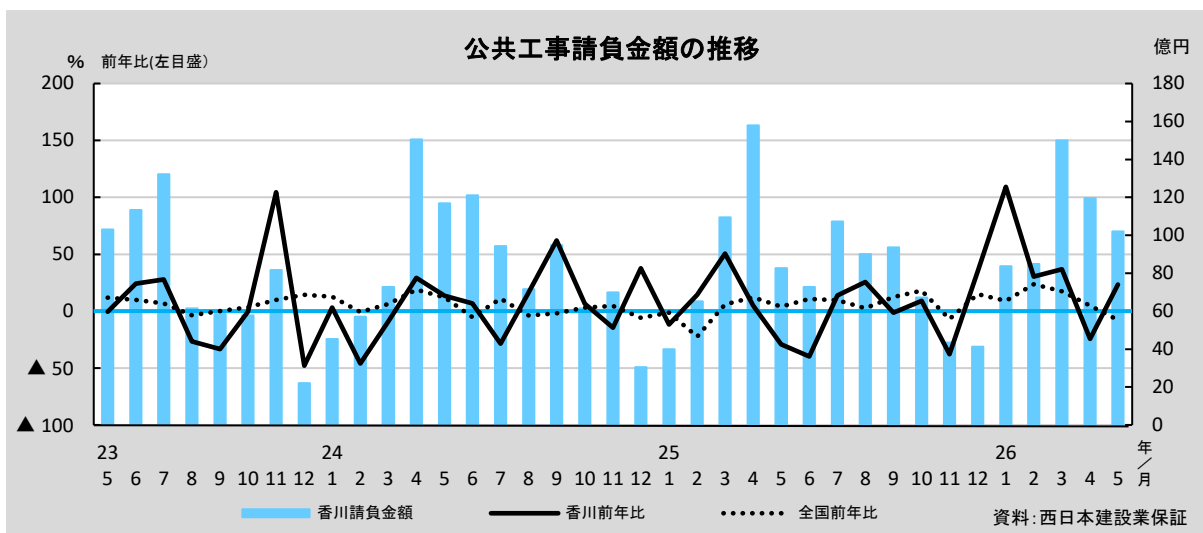
5月の新設住宅着工戸数は286戸で、前年同月比+24.9%と2カ月連続で増加した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲12.5%、**貸家**で同+80.6%、**分譲住宅**で同+173.3%となった。

## 公共投資

持ち直しの動きがみられる

### ●公共工事請負金額

2 カ月ぶり増加



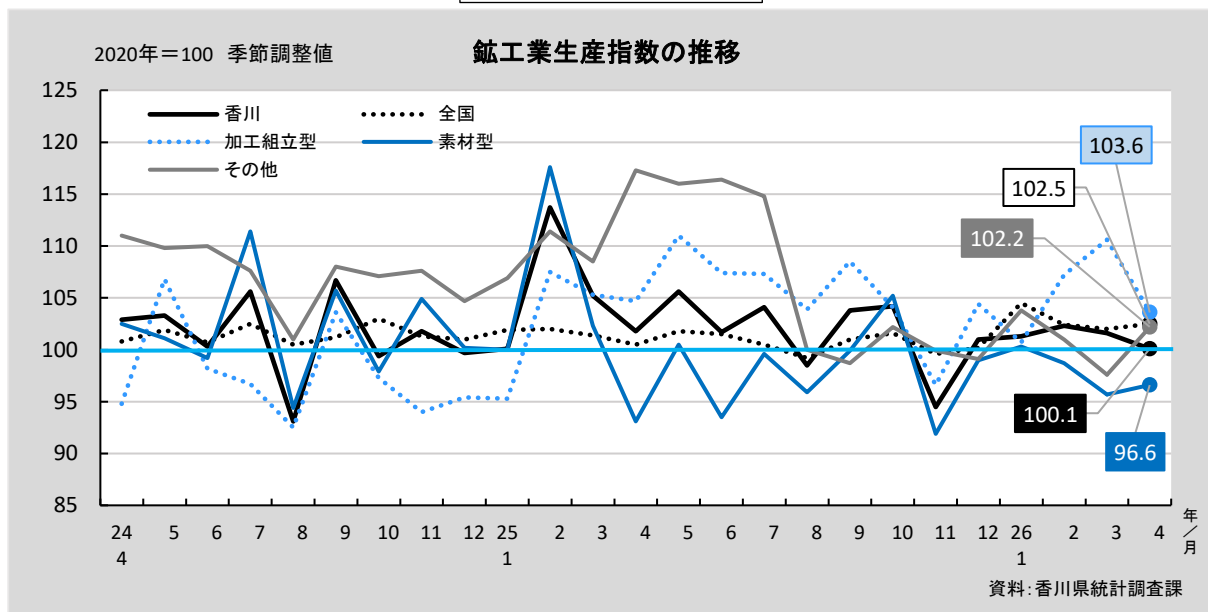
5月の公共工事請負金額は102.1億円で、前年同月比+23.3%と2カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲29.8%、**県**で同+20.8%、**市町**で同+59.5%となった。

## 生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

### ● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓



4 月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は 100.1（前月 101.6）となり、2 カ月連続で低下した。

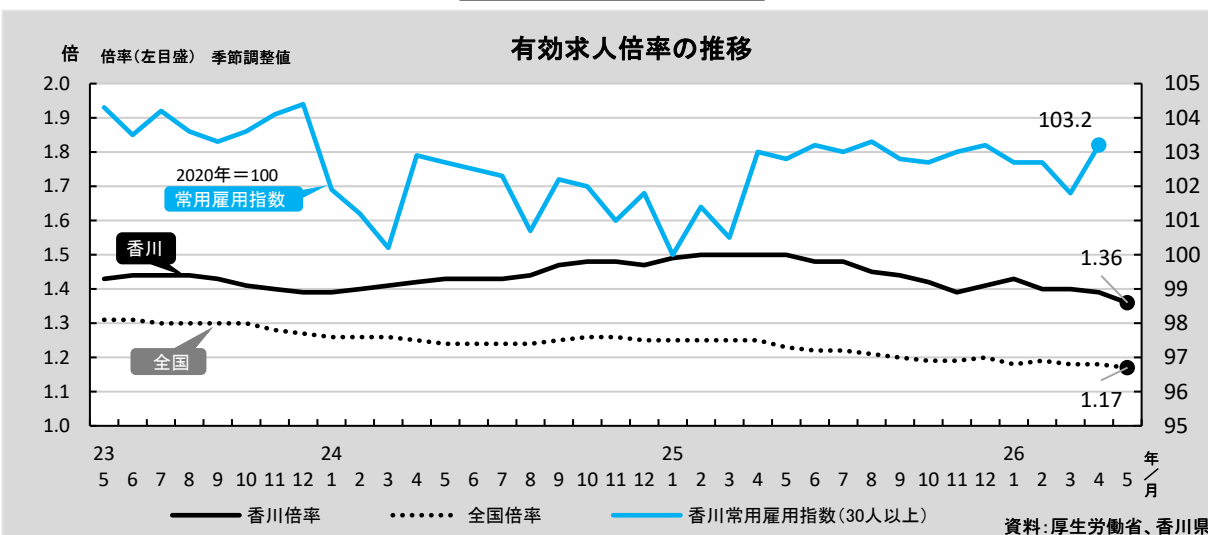
業種別では、素材型の金属製品工業（アルミニウム製建具など）は前月比▲10.2%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同▲6.9%と低下した。一方、素材型のプラスチック製品工業（フィルム・シートなど）は同+11.7%と上昇した。

## 雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

### ● 有効求人倍率

2 カ月連続減少 ↓



5 月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.36 倍（全国 10 位）と前月から 0.03 ポイント下回った。

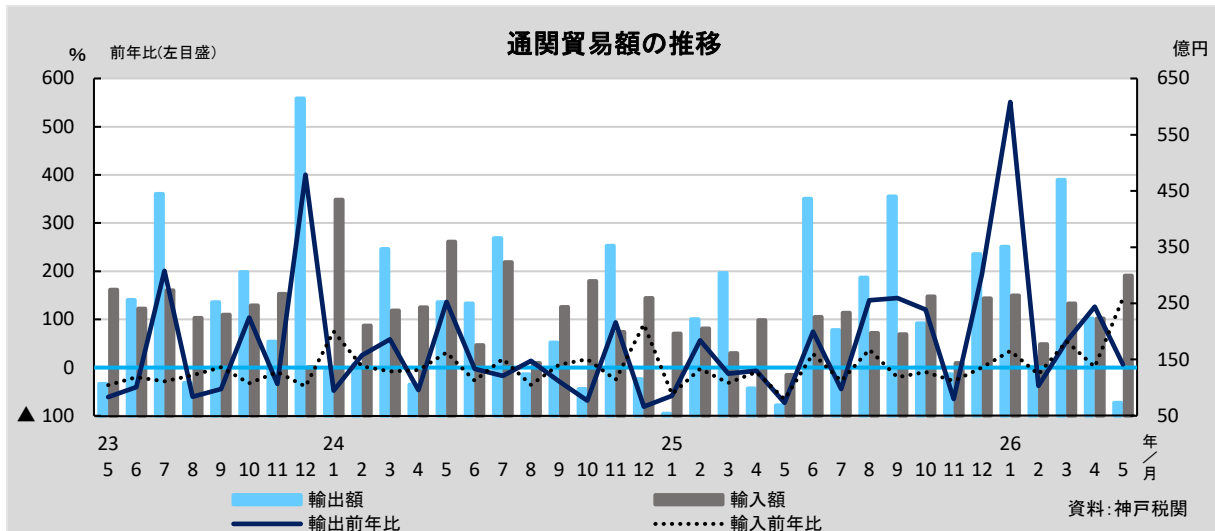
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業、不動産業・物品賃貸業等で減少となり、全体で▲12.3%と 2 カ月ぶりに減少した。

4 月の常用雇用指数（事業所規模 30 人以上）は、103.2 となり、前年同月比+0.2%と 15 カ月連続で増加した。

| 職業別常用有効求人倍率  | 倍    |
|--------------|------|
| 専門・技術的職業     | 2.03 |
| 事務的職業        | 0.58 |
| 販売の職業        | 2.10 |
| サービスの職業      | 2.74 |
| 生産工程の職業      | 2.29 |
| 輸送・機械運転の職業   | 2.50 |
| 建設・採掘の職業     | 6.23 |
| 運搬・清掃・包装等の職業 | 1.01 |

## 貿易

輸出、輸入ともに増加している

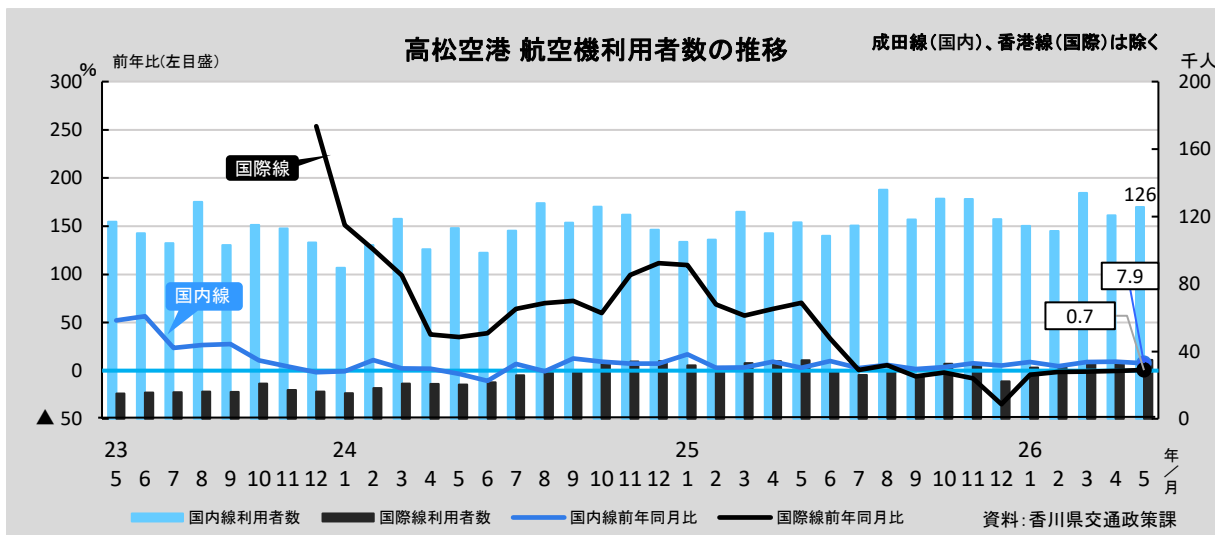


5月の輸出額は前年同月比+6.6%の72.8億円、輸入額は同+143.8%の299.2億円となり、差し引き226.4億円の入超となった。輸出は鉱物性燃料輸出額が前年同月比+11.8%の40億円となり増加に寄与した。輸入は前年ゼロだった液化天然ガス輸入額が94億円となり増加に寄与した。

## 交通

国内線は21カ月連続増加、国際線は9カ月ぶり増加

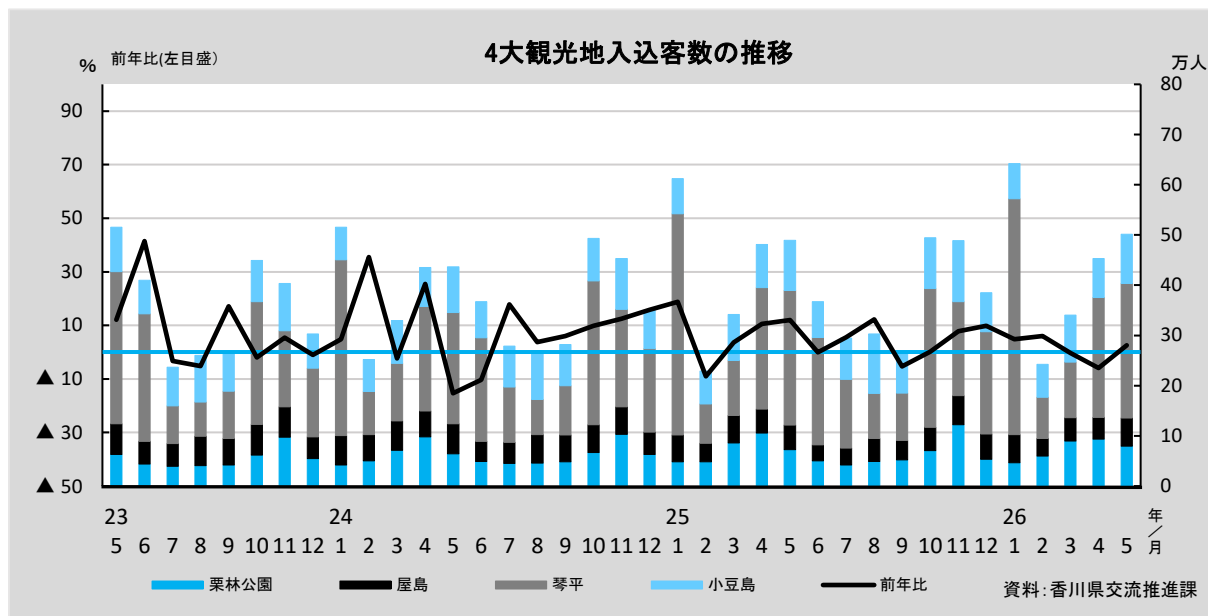
### ●高松空港旅客輸送実績



5月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が125,694人(前年同月比+7.9%)となり、21カ月連続で増加した。羽田線は113,510人(同+7.7%)、那覇線は12,184人(同+9.4%)となった。

国際線は、ソウル線21,307人(同+2.3%)、台北線9,245人(同+17.7%)、釜山線4,488人(全増)で、合計35,040人(同+0.7%)と9カ月ぶりに増加した。

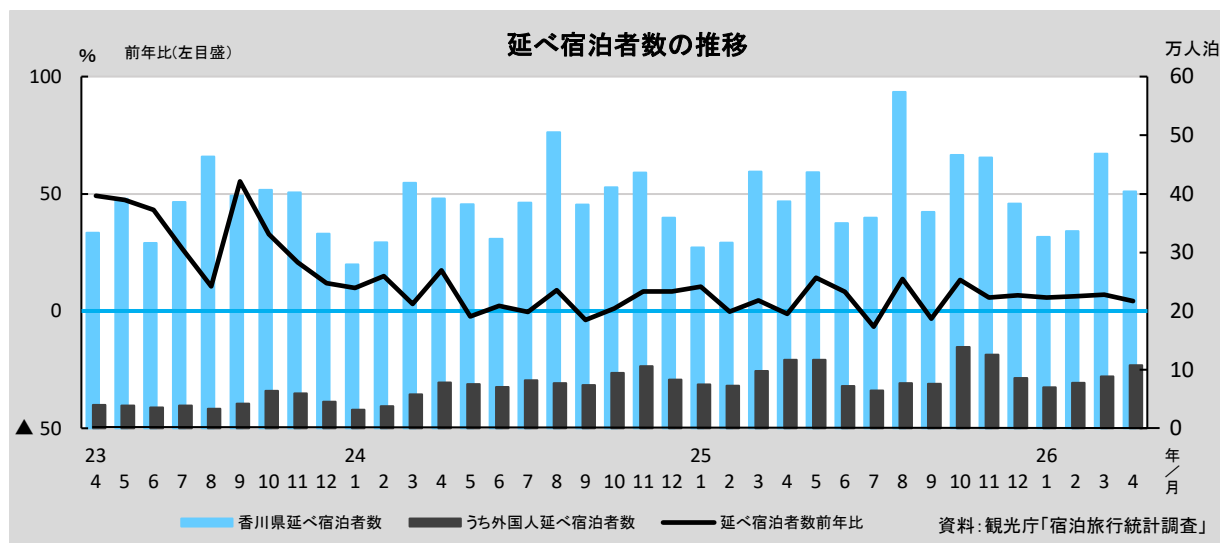
## ●主要観光地入込客数



| 観光地入込客数   |       | 栗林公園    |      | 屋島      |       | 琴平        |      | 小豆島     |       | 合計        |      |
|-----------|-------|---------|------|---------|-------|-----------|------|---------|-------|-----------|------|
| 5月(人)     | 前年同月比 | 79,261  | 8.9% | 56,296  | 15.5% | 268,000   | 0.0% | 98,220  | ▲1.6% | 501,777   | 2.5% |
| 1~5月累計(人) |       | 368,787 | 2.4% | 236,880 | ▲2.1% | 1,170,000 | 2.8% | 403,998 | ▲2.3% | 2,179,665 | 1.2% |

5月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+2.5%と3カ月ぶりに増加した。栗林公園は前年同月比+8.9%、屋島は同+15.5%と増加し、琴平は前年と同水準となったが、小豆島は同▲1.6%と減少した。1~5月の累計では前年同期比+1.2%と増加を維持している。

## ●延べ宿泊者数



4月の延べ宿泊者数 404,080 人泊で、前年同月比+4.3%と7カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は 107,820 人泊となり、前年同月比▲7.9%と2カ月連続で減少した。